

「一島一森づくり」の取組状況

平成20年2月までに、各地域において、地域住民や企業・団体、行政等が協働による「一島一森づくり」活動が行われました。

- 1 百年幸福の森づくり計画(那覇市)
- 2 環境保全と花いっぱい村づくり活動(南城市)
- 3 ふるさと博覧会での苗木無料配布(南風原町)
- 4 ふるさと花園づくり(石垣市)
- 5 竹富町植樹祭
- 6 津堅島ふるさとの森創造運動(うるま市)
- 7 2008森に学ぼうさわやかin国頭
- 8 古事の森づくり(国頭村)
- 9 防風林の日・植樹大会(宮古島市)
- 10 花王みんなの森づくり植樹(宮古島市)
- 11 大宜味村ヒルギ植樹活動
- 12 第1回黒木の杜づくり植樹祭(読谷村)
- 13 ナングスク植樹祭(名護市)
- 14 木を植える会植樹活動(北中城村)
- 15 郷友の森植樹活動(宮古島市)
- 16 東江銭ヶ森植樹活動(名護市)
- 17 南西石油(株)第1回植樹祭(西原町)

また、緑の重要性を普及啓発し、緑化運動を盛り上げるため、小中高生を対象に全島緑化県民運動ポスター原画コンクールの募集やみどりのシンポジウムを開催しました。



石垣市栄地内ふるさと花園



南西石油植樹活動(西原町)



農地防風林(南大東村)



沖縄県植樹祭(今帰仁村)

全島緑化一島一森づくり活動状況と計画イメージ



全島緑化事業の背景と目的

周囲を海に囲まれた沖縄県は国内唯一の亜熱帯地域に属し、地理的・気象的条件から台風・季節風等の気象災害を受けやすい自然環境下にあります。

森林・緑は水源のかん養、災害防止機能のほか、豊かな自然環境を創造し、県民が潤いと安らぎのある生活を営む上で、また、亜熱帯の魅力ある花や緑は、観光資源として重要な役割を果たしています。しかしながら、近年の人口増加、産業発展に伴う都市化の進展や各種開

みんなで作る「一島一森で花と緑の美ら島づくり」

全島緑化県民運動

緑化推進体制の設置

平成二十年六月に全県的な緑化運動を推進するため、経済界、農林業関係者、行政等の一体的な取り組みによる、「沖縄県全島緑化県民運動推進会議」を設立しました。「一島一森(いちしまいちむい)で花と緑の美ら島づくり」をスローガンに、地域住民や企業等の緑化活動への自主的な参加を促し、各地域で「以上の森・緑地づくりを目指す「全島緑化県民運動」を推進しています。

発により、緑は減少し続けています。さらには、地球温暖化、都市部におけるヒートアイランド現象など各種環境問題が深刻化し、県民の環境に対する意識が急速に高まっています。このような状況を踏まえて、県は防風・防潮林、道路、都市公園、公共施設、住宅など、県全体の緑化を効果的に組み合わせ、自然災害防止力を高めるとともに、花と緑で潤いと安らぎのある「緑の美ら島」の創生を目指した「全島緑化事業」を平成二十年度からスタートしました。

- 1 地域住民が主体的に行う「一島一森づくり」活動計画の促進(一五地域で計画)
- 2 普及啓発
 - ◎花と緑のトロピカルロードづくり
 - ◎花と緑あふれる街づくり
 - ◎花と緑の名所づくり
 - ◎憩いの森づくり(企業等)
 - ◎五圏域で活動拠点となる「植樹の集い(仮称)」を開催



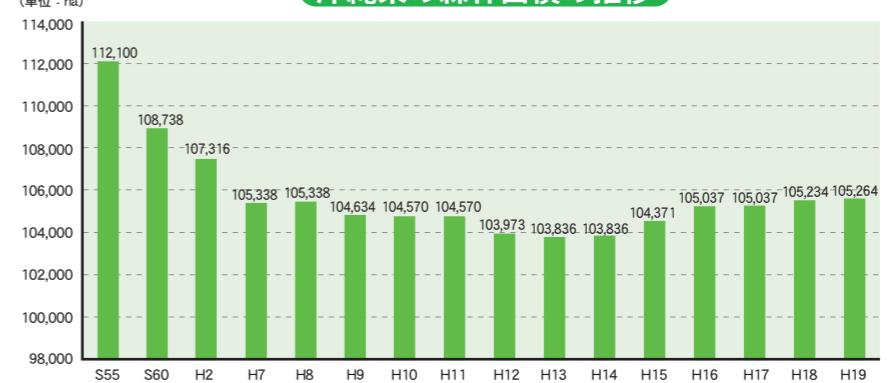
平成20年度「全島緑化県民運動ポスター」採用作品画/井草海里(沖縄市立美里中学校)

など、各種イベントを開催します。県民のみならずも緑の重要性を認識し、緑豊かな潤いと安らぎのある「緑の美ら島」の創生をめざし、家庭・職場・学校・自治会など各地域において、緑をつくり、守り、育てる「一島一森づくり」活動に積極的に参加しましょう。

平成二十一年度「全島緑化事業計画」

平成二十一年度は、各市町村や地域住民が主体となる「一島一森づくり」を継続して促進します。

沖縄県の森林面積の推移



お問い合わせ 県森林緑地課 ☎098-866-2295 ☎098-868-0700